



ごあいさつ

8月9月の困難を抜けて10月からいろいろと岡村胃腸科外科の体制が新しくなっています。すでに気が付かれていらっしゃるかと思いますが、まず、スタッフの変更、看護師さん・非常勤医師が変わりました。次に今月から松戸市の内視鏡による胃がん検診機関になりました。新型の内視鏡と洗浄機をそなえ、より多く患者さんの検査が可能になりました。当院のモットーを、より患者さんに近づいて徹底的に親切に、としました。お気づきの事がございましたら院長にお知らせください。

今月のことば

- 1 笑ってあげなさい。笑いたくなくても笑うのよ。笑顔が人間に必要なの。

マザー・テレサ

2. 私は失望するといつも思う。 歴史を見れば、真実と愛は常に勝利を収めた。暴君や残忍な為政者もいた。一時彼らは無敵にさえ見える、だが

結局は滅びている。それを思う。

マハトマ・ガンジー



院長から



(1)みなさん、待合室の掲示を掲示期間が過ぎたのでフィリピンの人々から韓国の人々に変えました。①釜山小山ロータリークラブでの親睦・友愛活動 ②韓国有数の大学東亜大学(私立大学では国内でナンバー1を競います。)内の総合病院での討論会③ 歓迎会での親睦風景、④一部夜の釜山の街中 などです

(さすがに病院内では、病院独自にサーバーをたちあげ、その専門スタッフが常駐しています。白衣を着て聴診器を首にかけている方、副院長たちは零々に予定時間が大幅に過ぎてしまうほど、病院のシステム、病院の課題、経営、医療面での課題をどうブレイクスルーするかなど教えてくれました。)

(2)今日も夜、患者さんのまとめをひとりひとりしていました。過去・現在・未来のカルテをつくるのです。何か、みえてくることがいつもあります。私自身リラックスした時に、あたらしい治療法などが頭に浮かびます。





(3)最近、まだまだ、医療に誤解を与える情報が蔓延してますね。あえて何とは申しません。ご自分で考え、惑わされないようにしましょう、少なくとも信じ込まないように。

(4)目を見張るほどすごい患者さんが再来されました。巨大な肺病巣を発見し病院に紹介した方です。3,4か月の間に、必死に病気との戦いをされ、その結果、腫瘍は消えたそうです。手術は出来なくて、化学療法・放射線療法などをされています。自分の体内にそなわった免疫力、病気と戦う肉体、精神の力を信じつらい治療に挑んだからだと思います

(5)話は変わって、当院外来についてです。比較的患者さんの多くが午前中に偏って集まってこられています。もし可能なら午後の方が、特に月・火>水 が空いていますよ。金曜の午後は空いていませんが。

(6)そして、院長は元気満々です。な—んも心配いりません。あらぬ噂？が出ていたようですが。



9月の院長の活動

6/ (木) 夕方 空手道場稽古 馬橋 7月からはじめて 今は白帯です

8/ (土) Sanjay 来院 フィリピンの患者さん治療方針検討 当院にて
新スタッフ 歓迎会 旧スタッフ送迎会 松戸

10/ (月) 当院カンファレンス 当院の指針・方向性・経営などについて

13/ (木) 夕方 空手道場稽古 馬橋

15/ (土) 夕方 空手道場稽古 そして 師匠と弟子の懇親会 馬橋

16/ (日) 松戸市夜間小児救急センター 松戸市立総合医療センター

20/ (木) 夕方 空手道場稽古 馬橋

22/ (土) ルーマニアの関係者と懇談 当院

26/ (水) 松戸市乳がん研究会講習 衛生会館

27/ (木) 夕方 空手道場稽古 としてはじめての審査 合格 青帯へ
馬橋にて



食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋
秋になると、母と銀杏を採りに
行ったことを思い出します。

今月担当 島津

